

―消防署との連携を密に―

火災現場等での活動は、初期消火や後方支援（中継送水、防火水槽への水の補給）、交通整理など多岐にわたります。また、平常時においても火災予防を啓発するなど、消防署とは「車の両輪」のような関係です。

大規模な災害時には消防署員が現場に到着できないことも想定されますので、自主防災組織等とも連携しながら、消防関係機関との結びつきを強固なものにしていきたいと思

―強い組織をめざして―

消防団活動を通じて感じるのは、地域のために動き、身近な人のために役に立てることは有意義だということ。消防を通じてできた人のつながりは、自分の財産であり、人生においてもプラスになっています。同じ地域に暮らしていることで、いろんな交流も生まれ、消防団活動は人づくりであり、地域づくりにつながるものだと思います。



▲長浜市総合防災訓練の様子(昨年10月)

今の時代、価値観の多様化など消防団を取り巻く状況は厳しいものがありますが、10年後、20年後に消防団がさらに強い組織であるために、自分が今できる事に精一杯取り組みたいと思っています。また団員たちには、退団後も地域防災のリーダーとして、訓練や活動現場の経験で得たものを発揮してほしいと願っています。



木之本方面隊第26分団 団員 野村 勇輔さん

消防団員として10年が経とうとする野村さんは、市内の鉄工所に勤めるサラリーマン。昨夏の県消防操法訓練大会「小型ポンプの部」において、指揮者として出場。文字通り指揮官として号令を発し、チームのまとめ役として重要な役割を担いました。

―消防団の印象が変わった―

高校を卒業後、一旦地元を離れ就職しましたが、地元に戻った27歳の頃、当時の班長から誘われたのが入団のきっかけでした。入団前は「厳しい訓練ばかり」と思っていたましたが、消防団員としていろんな訓練

ています。

これからも「女性だからできること」と「をスローガンに、どんなことにもチャレンジしていきたい」と思います。

身近なヒーロー―

訓練会場や出初式など、たくさんの消防団員や消防車両が集結する場所に、家族に連れられた子ども達の姿をよく見かけます。子どもたちは、「消防車が好き」「パパを見に来た」と嬉しそうに話します。

人を助け、まちを守る消防団員たちの姿や心意気が、子どもたちには身近なヒーローのように映っているのかもしれない。

火災・災害のない暮らしは誰しも願いです。長浜のまちと、そこに住む人々の生命や財産、そして未来に精励します。消防団員たちの「自らで地域を守る」という熱い志に支えられている消防団活動に、市民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。



「『大切な命』を救うために」に合わせ、心肺蘇生法が誰にでも実践できるよう振り付けを考案しました。皆さんに覚えていただくけるよう、小学校の夏祭りなど各種イベントで披露し

や現場での経験などを積むうちに、「基本を繰り返し覚えることが、現場での冷静・迅速な行動につながるんだ」と考えるようになりました。

―やるときは「やる」―

仕事や生活がある中で、消防団活動との両立はなかなか難しいものがありますが、やりがいを感じています。社長が消防団OBで、勤務中であつても、出動することを認めてもらっています。

毎年、ポンプ操法訓練の時期になれば、主に平日の夜、週2〜3回程度集まり、練習を行います。操法訓練は、実際の消防活動に生かすことを第一の目的としています。出るからには負けたくない」と、闘志を燃やしチーム一丸となって取り組みます。過去には県大会での優勝歴もあり、大会が近づくと、地元の人から「調子はどうや」などと声をかけてもらうこともあり、地域の期待を感じます。

大人になつて、ここまで一つのことに打ち込めるものがあることは良いことで、消防には人を熱くさせるものがあると思います。



―喜び、楽しみ―

消防団に入り、自分の住む地域は自分たちで守るということを当然として認識できるようになり、得られたものは大きいと感じています。

普通に暮らしていれば、あまり関わりのない、いろんな世代の人たちにも仲良くしてもらい、他愛もない話や消防活動での思い出などで盛り上げられるところが楽しいです。消防活動を通じた交流のおかげで、地域の事情にも明るくなりましたし、素の自分を出せ、地域に打ち解けていることを実感しています。



▲女性消防団員の皆さん

消防団では、市民の安心と安全を確保するため、男性だけでなく、多くの女性の力が輝いています。本市消防団においても、現在17人が在籍しており、広報や啓発活動など、女性の視点に立った活動を展開しています。

地域に根ざした活動への想いを女性消防団員の皆さんが語ります。

消防団員募集

あなたの熱い想いで 守れる**街**がある
救える**命**がある
深まる**絆**がある



消防団に入団して、自分に誇れること、やりがいを見つけてみませんか。

消防団活動が安定的に行えるよう、地域や自治会においても消防団員の確保についてご協力いただきますようお願いします。

■地域で消火活動や訓練などを行う消防団員

例年この時期に、各分団内で新規入団者の募集が行われます。消防団活動に興味をお持ちの人や、地域の消防団員、自治会などから入団を勧められた場合は、ぜひご検討ください。

■啓発活動を行う女性消防団員

広報や火災予防などの啓発を業務とする女性消防団員を募集しています。

入団資格

市内に在住・在勤する18歳以上で健康な人

入団方法

入団希望者は、お近くの消防団員または各地区の下記問合せ先まで。

問 防災危機管理課 消防団係

・長浜消防署内 ☎62-0445

・東浅井分署内 ☎73-2561

・伊香分署内 ☎82-2361